

「かむかむ」の噛みごち×炭酸の王道「コーラ」
美味しさの秘訣は弾ける炭酸感！！

三菱食品株式会社（東京都文京区）は、「かむかむコーラ 30g」を2023年4月3日（月）に再発売します。

1粒あたり「ビタミンC20mg（レモン1個分）」配合の噛んで食べるチューイングキャンデーです。

4月～5月の期間限定で発売します！

The advertisement features a vibrant red background with a blue and white star pattern. In the center, a red pouch of 'KAMUKAMU COLA' is displayed, showing a glass of cola with a can of the product. The pouch has the text 'NEW FLAVOR' and '4月の新商品' (New product of April) in a circular stamp. A 'New' starburst is also present. The product name 'かむかむ コーラ' is written in large, stylized white characters. Text on the pouch includes 'くせになる噛みごち!' (Addictive chewing!), '期間限定' (Limited time), and '1粒にビタミンC 20mg配合' (20mg Vitamin C per piece). A yellow chick mascot is shown holding a smartphone displaying a cola glass. A '20 YEARS' anniversary logo with a chick is in the top right, with the text 'ありがとうひよ' (Thank you, chick) below it. At the bottom left, the brand name 'KAMUKAMU Cola' is written in large red letters. A red and white striped napkin is visible at the bottom.

〈開発背景〉

4月に発売するコーラ味はかむかむシリーズの中でもトップに入る人気であり、売れ筋フレーバーです。

開発背景ですが、炭酸と言って思い浮かぶのはまず「コーラ!」。どの年代にも人気が高いコーラとかむかむの噛みごちを合わせた商品です。

またかむかむシリーズの購入者層は女性の割合が多いですが、本商品は男性にも人気があり、購入者層が男女比半々になっております。全年代から何粒も食べたくなる連食性のある爽やかな味わいにこだわり開発しました。

パッケージは「コーラの炭酸感」を前面に出すことと、一目で本商品がコーラ味であることが分かり、手に取って食べてみたくなるデザインを心がけました。

口いっぱい広がるコーラ味と、サクとした爽快感が特徴な「かむかむコーラ」を是非ご賞味下さい!

かむかむコーラって
こんな味

さくっと
爽快感

もっちりほじける
炭酸感

口いっぱいに
広がる
コーラ味

KAMU KAMU COLA
くせになる
噛みごち!
期間限定
1粒に
ビタミンC
20mg配合
かむかむ
コーラ
噛んでほじけるチューイングキャンデーです!
ソフトオープン
さくっと爽快感
もっちりほじける炭酸感
コーラ香料使用
1粒1粒がおいしいので。

〈商品の特長〉

かむかむシリーズの特徴として、3層構造で作られております。独自の3層構造でくせになる噛みごちと味の変化が楽しめます。

ソフトコーティングは甘酸っぱく濃厚な味わい、外生地はさくっとした爽快感を感じ、内生地はもっちりはじける炭酸感で、口いっぱい広がる爽やかなコーラ味に仕上げました。

〈商品概要〉

- 商品名 : かむかむコーラ
- 内容量 : 袋 30g
- 希望小売価格 : 140円 (税別)
- 発売期間 : 2023年4月3日(月) ~ 2023年5月末迄
- 販売エリア : 全国



〈かむかむシリーズについて〉

2002年にレモンフレーバーを発売しているシリーズ商品であり、独特の食感とビタミンCなどの栄養素を含んだチューイングキャンデーを展開しているブランドです。

現在チューイングキャンデーは、通年商品の3フレーバー(レモン、巨峰、梅)、春夏・秋冬期間限定商品の2フレーバーに加え、毎月新たなフレーバーを発売しています。季節の旬な味わいや市場トレンドを捉えたフレーバー、または売り場にはないフレーバーを積極的に開発することで、市場の活性化を狙います。

以上